

子どもたちの安全を願って

住民の皆さまや、登下校サポート隊の方より、児童・生徒の登下校時の安全確保について、さまざまな要望が寄せられています。できるだけ、すみやかに対応するとともに、関係各所を訪問し、最善の対策を協議し、実施できるよう取り組んでいます。環境・条件によっては工事に至らない場合や年数がかかる場合もあります。ご理解いただきますようお願いいたします。

通学路の安全対策(西原第一公園前)

原小学校の児童が安全に通学できるよう、西原第一公園の前の市道に横断歩道新設の要望が住民の皆さまよりありました。広島県警察と協議の結果、道路の道幅が狭いことで設置はかないませんでした。そこで、安佐南区役所と対策を検討し、注意喚起の「カラー舗装」と「路面標示」を施工いたしました。



カラー舗装

路面標示

歩道整備(緑井2丁目)

緑井小学校下校サポート隊から要望がありました。緑井2丁目の通学路に指定されている歩道で、むき出しになっていた側溝にグレーチング(格子状の鉄の蓋)を敷設する工事をおこないました。一部は西日本高速道路株式会社の敷地に当たるため、担当部署を訪ねて要望を伝えたとこ、設置していただきました。



信号待ちの児童が自転車などをよけて踏み外すこともありました。

子どもたちの健康を願って

原小学校に念願のプールが完成

かねてより建設中だった広島市立原小学校(西原6丁目)のプールがいよいよ完成。8月30日(水)に「プール完成式」がおこなわれました。プールは小学校の正門前に道路を挟んで建設され、大プール(25m)と小プールがあります。当日は6年生による「初泳ぎの会」もおこなわれ、さっそく大きな歓声があがっていました。



海徳ひろし
日々の活動

選出区：安佐南区 会派：広島市民クラブ
所属委員会：経済観光環境委員会副委員長
大都市税財政・地方創生対策特別委員会、広報委員会

海徳ひろしの日々の活動はホームページのブログをご覧ください。

ホームページ <http://kaitoku-asaminami.jp/>

海徳ひろし

検索



安佐南区から未来を開く!

広島市議会議員(安佐南区)

かいとく

海徳ひろし



2017
Vol.3

市政 報告

広島市民クラブ 〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2771 FAX:082-244-1422
この海徳ひろし市政報告は、広島市民クラブの承認を得て発行しています。

ごあいさつ

皆さま、こんにちは。広島市民クラブの海徳ひろしです。一年を通じて真っ赤に染まった広島は、カープのリーグ連覇で大いに盛り上がり、わたしたちの安佐南区でもたくさんの元気をもらいました。今年広島では幸いにも大きな災害はありませんでした。しかしながらいまや不意の災害が、いつどこで起きかわからない状況です。これに立ち向かうには、まず身近なライフラインや危険箇所を整備していかなくてはなりません。微力ではありますが皆さまの「安全と安心」に今後も尽くしてまいります。2020年東京オリンピックへ向け、広島を訪れる外国からのお客様もさらに増えていくと思われま。わたしたち広島市民一人ひとりの「おもてなし」の心が問われます。そんな取り組みにも皆さまといっしょに考えて参りたいと思っております。

暮らしに安全・安心を

八木地区生活道の整備

上細野自治会からの依頼で改修工事をおこなってきました八木用水沿いの生活道整備が7月に完成しました。もともと積木で階段状に築かれたこの道は、利用者も多く、特に高齢者の皆さまには降雨時などたいへん危ない状態でした。完成した階段は見た目も美しく地元の皆さまに大変喜んでいただいています。



安東地区の里道補修

安東2丁目10番付近の里道は、水田に沿って道幅が狭く、路面が荒れており、降雨時には足を滑らせて水田に落下することも想定できるなど、歩きにくい状態でした。そこで、安佐南区役所と対策を検討。早速、工事に入るなど、スピード解決することができました。



川内地区に街路灯設置

川内3丁目の生活道に、100m以上にわたって街路灯がない区間があり、夜ともなると暗くなり住民の皆さまから不安の声があがっていました。そこで安佐南区役所と対策を検討。時間がかかりましたが、今年1月にLEDによる街路灯(防犯灯)を設置することができました。



一般質問

平成29年第3回広島市議会定例会 9月25日(月)

広島市民クラブを代表して
一般質問に臨みましたので、
ご報告させていただきます。



JR可部線下祇園駅の自由通路等整備について

質問 JR下祇園駅については、昨年度から自由通路の整備検討を行っていますが、現在の状況はどのようになっていますか。また、今後の見通しを教えてください。

回答 JR西日本と連携し、下祇園駅線路の東西を結ぶ自由通路と西口のアクセス道路及び橋上駅舎等の整備内容等を検討するとともに、財源を確保するため、適応可能な補助制度について国土交通省と協議を進めています。今後、地域の期待に応えられるよう、できるだけ早く事業化について方針を決定する予定です。



祇園踏切

地産地消の推進について

質問 広島市では農業生産者の高齢化が進む中、技術を伝承する新たな担い手の育成について、どのような取り組みを行っていますか。また、地元産農産物について良いブランドイメージを確立していくことが重要ですが、どうお考えですか。

回答 平成9年度から意欲ある若い優秀な人材を農業経営者として育成するため、技術研修や農地の斡旋等の就農支援を一元的におこなう「ひろしま活力農業」経営者育成事業に取り組んでいます。ほかにも本市独自の「農業継承円滑化支援事業」や国の支援制度である「青年新規就農者確保事業」等にも取り組んでいます。また、平成6年度から「ひろしまそだち」地産地消推進事業に取り組み、市内産の新鮮で安心の農産物を「ひろしまそだち」産品としてブランド化に努めています。また本年度からは市内葉物野菜（小松菜、サラダ水菜、シュンギク、ホウレンソウ、パセリ、青ネギ）を「広島近郊6大葉物野菜」と名付けPRIに取り組んでいます。



川内の広島菜

質問 最近、GAP(グッド・アグリカルチュラル・プラクティス/農業生産工程管理)が話題です。東京五輪組織委員会は、飲食サービスに使用される農産物の要件として、GAPの認証を求めるなど生産者の間でも関心が高いと聞きます。広島市では、GAPについて、どのような取り組みを考えていますか。

回答 食の安全安心への関心が高まる中、食品の安全性向上や環境の保全等を目的としたGAPの取り組みは重要です。しかし生産者の事務的負担が大きく、認証経費も高額であるため全国的には普及していません。広島市では、まずは現在取り組んでいる「ひろしまそだち」地産地消推進事業の中で、GAPに対応した取り組みの強化を考えています。

広島豪雨災害被災地の復興まちづくりについて

平成26年の豪雨災害から3年が経過した8月20日、私は被災地の慰霊碑や記念碑に献花を行い、あの日を思いながら祈りを捧げました。安佐南区では、昨年からの被災地をマリーゴールドの花でいっぱいにする「絆花壇」の整備を行っています。今では、当時の情景を思い出させる場所は少なくなりました。



質問 被災して3年が経過し、あらためて、復興まちづくりビジョンに示された避難路の整備など、本市が行う基盤施設整備について、現在の進捗状況をお聞かせください。

回答 本市が避難路として整備する都市計画道路のうち、安佐南区の長束八木線及び川の内線については、本格的な用地買収に取り組んでおり、現在、移転対象となる物件概ね100件のうち、84件の契約を締結しています。また本年2月から県営緑ヶ丘住宅付近の工事を進めており、現在八木3丁目の阿武の里団地付近の工事契約手続きに入りました。さらに雨水排水施設の整備や河川の改良等も順次工事に着手して参ります。被災後5年間で定めた集中復興期間で計画通り進めるよう、全力で取り組んでまいります。



長束八木線新設工事現場で復興工事事務所担当者より説明を受ける海徳(写真中)

質問 被災の教訓を広島市や全国へ伝承し、市民が防災減災の取り組みを学び、さらに被災者や来訪者が交流する場として拠点施設が必要であると考えています。梅林学区復興まちづくりプランに位置付けられる予定のこうした施設を設置することについて、どうお考えですか。

松井市長の回答 災害から3年が経過し、被災地では「復興まちづくりビジョン」に掲げる基盤設備の整備が着実に進んでいます。被災の教訓を伝承し、市民が防災を学び、交流できる拠点施設については、同プランの作成過程で議論に出たと聞いています。市民一人ひとりが災害の教訓を忘れることなく、常に防災・減災に対する意識や知識を高めていくためには重要な役割を担うと考えています。そのため、地域の皆さまがこうした施設をまちづくりに不可欠と位置づけるならば、地域の皆さまと対話を重ね、しっかりと検討して参ります。



梅林学区復興まちづくり協議会での様子